

令和8年（2026年）度事業評価シート

令和 8 年 6 月 30 日

評価対象事業	環境 - 8 し尿収集事業						☐ 法定受託事務
所管課	環境部 ごみ対策課				評価者	ごみ対策課担当課長 大窪 宏典	
一般	会計	款	20	項	10	目	15
総合計画上の位置付け	分野名	生活環境			施策の方針名	快適な生活環境の保全	

1 事業の目的

対象	市民等	意図	汲取りし尿の適正な処理のため。
効果	生活環境の保全及び公衆衛生が図られる。		

2 事業工程と運営資源配分

☐ 単年度事業 ☐ 終期のある事業 （事業終了予定年度： 年度） ☒ 単年度繰返

	令和7年度	令和8年度	令和9年度（未定）
事業工程	し尿収集運搬及び手数料徴収業務	し尿収集運搬及び手数料徴収業務	し尿収集運搬及び手数料徴収業務
予算額（千円）	5,395	5,122	
国県支出金			
地方債			
その他	543	733	
一般財源	4,852	4,389	0
当初人員配置数	1.2	1.1	0.0
人件費（千円）	5,235	5,305	0
事業実績	し尿収集運搬及び手数料徴収業務		
決算額（千円）	4,865		
国県支出金			
地方債			
その他	523		
一般財源	4,342	0	0
人員配置実績数	1.2	0.0	0.0
人件費（千円）	5,108	0	0

3 活動結果（アウトプット）指標

No	活動結果（アウトプット）指標		単位	初期値	目標値 目指す方向	R7	R8	R9
						（上段実績、下段経費（千円））		
活1	指標名	一般し尿収集人数	人	132	ㇿ	122		
	実績につながる活動	一般家庭等の非水洗便所（汲み取り式便所）に係るし尿収集。当該収集は月例の計画収集に基づき実施するため、対象人員数により実態を把握する。				3,111		
活2	指標名	コップ式収集世帯数	帯	21	ㇿ	18		
	実績につながる活動	一般家庭等の簡易水洗便所に適応した、少量の水により洗浄を行うし尿収集。当該収集は排出者の要請に応じた随時収集に基づき実施するため、対象世帯数により実態を把握する。				1,729		
活3	指標名	実量収集事業者数	者	14	ㇿ	15		
	実績につながる活動	事業者に係るし尿収集。当該収集は排出者の要請に応じた随時収集に基づき実施するため、事業者数により実態を把握する。なお、経費については活動指標2に含める。				活2に含める		

活動結果指標の実績に影響を与えた外部要因	・水洗化の普及や家屋の建て替え等に伴い、非水洗及び簡易水洗世帯数は自然減の傾向にある。
本事業実施に伴う活動結果指標の達成状況に対する評価	・汲み取りし尿の適正な処理を行った。

4 成果（活動による直接アウトカム）指標

No	成果（アウトカム）指標の内容	単位	初期値	目標値 目指す方向	R7	R8	R9	関連する活動結 果指標No （最大3つ）
					実績			
成1	汲み取りし尿適正処理率	%	100	100	100			1 2 3

成果指標の実績に影響を与えた外部要因	・成果指標（活動による直接アウトカム）に影響する外部要因はなかった。
本事業実施に伴う成果指標の達成状況に対する評価	・汲み取りを停止することなく実施したことにより、生活環境の保全及び公衆衛生の安定につながった。
活動結果指標と成果指標結果の比較分析（寄与度）	・汲み取りし尿の適正な処理は、生活環境の保全及び公衆衛生の保全に必要な不可欠であり、妥当である。

5 評価結果

評価	妥当性	事業に対するニーズ	☐ 増えている ☐ 変わらない ☒ 減少している		
		事業実施の主体となるべき者	☒ 市	☐ 国・県	☐ 民間事業者 ☐ なし
	有効性	事業の成果	☒ 十分に出ている	☐ 概ね出ている	☐ 出していない
	効率性	事業費削減余地	☐ ある	☒ なし	
		関連・類似事業との統合	☐ できる	☒ できない	
方向性	公平性	受益者負担	☒ 導入済	☐ 導入予定	☐ 導入できない
	評価実施年度の方向性		⇒ 評価実施翌年度以降の方向性		
	事業内容の方向性	☒ 事業内容は現状通り	☒ ① 事業内容は現状通りとする		
		☐ 事業内容は見直し済	⇒ ☐ ② 事業内容は見直す	→ ☐ 拡大 ☐ 縮小 ☐ その他	
		☐ 事業を休止又は廃止済	☐ ③ 事業は休止又は廃止する		
		☐ 他事業と統合済	☐ ④ 他事業と統合し、本事業は廃止する	→	事業へ統合
	予算規模の方向性	☒ 予算規模は現状維持	☐ ⑤ 予算規模は現状維持とする		
		☐ 予算規模は拡大済	⇒ ☐ ⑥ 予算規模は拡大する		
		☐ 予算規模を縮小済	☒ ⑦ 予算規模は縮小する		

課題への対応		結果	具体的な内容		
今後の取組方針（見直し方針）	前年度の新たな課題への対応結果		前年度は新たな課題なし		
	活動結果指標や成果指標の達成状況に影響を与える新たな課題		新たに認識された課題はなかった		
	新たな課題に対応するための新規事業の必要性		新たに認識された課題はなかったため検討なし		
	総評	・生活環境の保全及び公衆衛生の向上を図るためには、汲み取りし尿の適正な処理を継続的に行う必要がある。			上位施策への寄与度
					B

○ 他市比較・ベンチマーク（県内外自治体や民間団体との比較値）

比較事項		委託収集量（令和6年度実態調査結果）							
団体名	鎌倉市	藤沢市	茅ヶ崎市	平塚市	小田原市	横須賀市	葉山町	逗子市	三浦市
他市実績	747kl	0kl	8,399kl	720kl	24,683kl	11,742kl	0kl	0kl	2,484kl

比較事項		許可収集量（令和6年度実態調査結果）							
団体名	鎌倉市	藤沢市	茅ヶ崎市	平塚市	小田原市	横須賀市	葉山町	逗子市	三浦市
他市実績	2,191kl	12,828kl	0kl	4,423kl	0kl	889kl	7,911kl	244kl	16,291kl

比較事項		直営収集量（令和6年度実態調査結果）							
団体名	鎌倉市	藤沢市	茅ヶ崎市	平塚市	小田原市	横須賀市	葉山町	逗子市	三浦市
他市実績	0kl	0kl	0kl	0kl	0kl	0kl	0kl	0kl	0kl

当該事業実施に伴う他市比較に関する考え方		し尿収集について、本市は他の自治体と同様に委託又は許可による収集を実施している。							
----------------------	--	--	--	--	--	--	--	--	--